

大会名称: **第47回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会**

開催場所: 富山市総合体育館
試合区分: No. B3 女子 3位決定戦
期 日: 平成28年1月24日(日) 主審: 仲埜 弘幸
開始時間: 12:20 副審: 鈴木 誠
終了時間: 13:30

東京学館新潟							○ 66	15 -1st- 16 12 -2nd- 14 13 -3rd- 15 26 -4th- 10 -OT1- -OT2- -OT3-	● 55	鵬学園						
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	
4	*	平田 萌々花	2			2		4		的場 美咲希	9	3				
5	*	成澤 優磨	24		11	2		5	*	熊崎 このみ	5		2	1	3	
6	*	高橋 優花	16	4	2		1	6	*	柿島 愛実	15	3	3		2	
7	*	遠田 姫菜	14	1	4	3		7	*	松本 亜衣	6		3		1	
8		赤塚 月寧	0					8	*	池田 実優	0				1	
9		原山 穂乃香	6		3		1	9	*	西 来実	12	2	3		2	
10		川野 史織	0				1	10		板谷 映里	0					
11		佐藤 萌乃	0					11		清水 咲帆	0					
12		本間 なつき	0					12		砂塚 千尋	8		4		2	
13	*	天井 莉子	4		2			13		加藤 千晴	0					
14		高橋 彩花	0					14		川原 咲希	0					
15		二宮 百花	0					15		小林 浩子	0					
16		須藤 朱里	0					16		奥野 優奈	0					
17		安達 愛梨	0					17		小栗 春緋	0					
18		稲田 沙織	0					18		岡田 瑠菜	0					
合計			66	5	22	7	3	合計			55	8	15	1	11	

戦 評

両チームともハーフマンツーマン。序盤は鵬学園のDFが良く、3Pも連続で決まりリードを広げる。東京学館新潟はエイトクロスでDFを崩しにかかるが、鵬学園はスクリーンへの対応が良く攻めあぐむ。⑤の個人技に頼り得点する展開となる。しかし、鵬学園がインサイドへボールを入れられない時間帯に、東京学館新潟はピック&ロールが決まり出し、じわじわと追いついていく。1点差で鵬学園がリードし1Q終了。2Qは鵬学園はドライブ中心の攻撃で、勢いが出てきたところに④の連続3Pが決まる。対する東京学館新潟はピック&ロールを読まれ点数が伸びない。⑤が体を張って喰らい付いていく。しかし、鵬学園④の3Pが決まり流れを掴めない。東京学館新潟は、DFのズレを作ろうとするが、鵬学園はしっかりと対応する。残り1分⑦がDFの隙を見逃さずドライブで応戦する。前半は鵬学園3点差のリードで折り返す。

後半、鵬学園はスピード重視でDFを崩していき。それに対し東京学館新潟は⑤⑦を中心に粘り強く得点し、点差を離れさせない。さらに攻撃に勢いを増す鵬学園だが、東京学館新潟⑦の3Pでそれを許さない。3Q鵬学園5点リードで終了。4Qは東京学館新潟のボールに対するDFが強くなり、そこから⑤のゴール下などの連続得点で1点差までに追いつく。さらに⑥のミドル、⑦のドライブで逆転に成功し一気に突き放す。5点差となり鵬学園がタイムアウト。残り3分で鵬学園はオールコートでボールを奪いに行くが追いつかず、自分たちのバスケットを貫いた東京学館新潟が北信越新人大会3位を決めた。